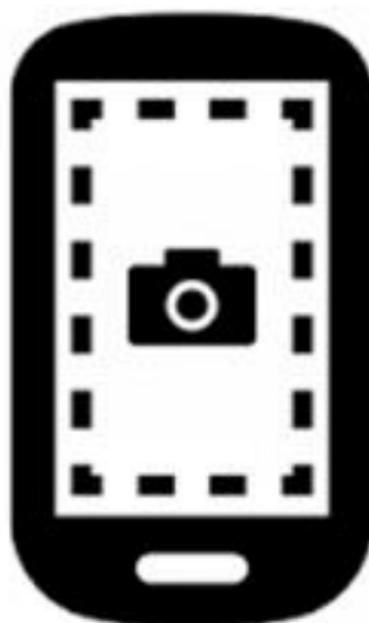


# キャリア支払・クレカ・QRコード決済 三つのお得の合わせ技



2023年10月24日



## クレジットカード支払いとQRコード支払い メリット・デメリット

携帯電話を利用している時に避けられないのが、携帯電話料金の支払いです。プランによっては高額になる場合もあります。ここから、何か「お得」を引き出せないでしょうか。考えるポイントは3つあります。

- I .携帯料金の支払いの仕組み（キャリア支払とは？）
- II .クレジットカードを使った支払方法でポイントをためる（クレジットカードによる決済方法は？）
- III .貯まったポイントをうまく使うには（QRコードを使って支払う！）

### 《今回の講座でやること》

- I .キャリア支払いを利用してお得！
- II .クレジットカードで支払ってお得！
- III .QRコード決済でお得！

➔ 三つのお得の合わせ技を3つのステージに分けて紹介

※PayPayカードはdカードやau PAYカードとは性格が異なり、「携帯電話料金をお得にするカード」というより、むしろ「コード決済（スマホ決済）サービスとしてのPayPayをより便利にするカード」としての側面が強かったのですが、LINEと統合したことで今後のレベルアップが期待されます。



## ステージⅠ．キャリア支払とは？

携帯料金の支払（キャリア決済）の方法には、クレジットカード・口座振替・払込用紙の3種類があります。振込用紙による毎月の振込はめんどうなため、口座振替かクレジットカード決済の方が大半だと思います。

また、キャリア支払は「電話料金合算払い」という仕組みとなっています。NTTドコモ・au・ソフトバンク・楽天モバイルでは、電話代を支払う時に、携帯電話代と一緒にほかの支払いも後払いで支払うことができます。

キャリア支払は、携帯電話やスマホで暗証番号を入力するだけで決済手続きが完了する、手軽なキャッシュレス決済のひとつです。ただ、実店舗では、キャリア支払の利用シーンはほとんどありません。オンライン上のECコマースや有料サービスの決済手段として利用するケースが一般的です。

キャリア支払は、スマホがあれば、だれでも使える（年齢制限がない）支払方法です。

### キャリア決済は限度額が少ない

キャリア決済には利用限度額が少ないという特徴があります。20歳未満で1～2万円。成人であっても月額10万円程度が利用限度額となっています。

①年齢制限がない ②後払いである ③利用限度額が少ない支払い方法です。



## キャリア決済のメリット（まとめ）

### ①チャージの手間がかからない

スマホや携帯が手元があれば、チャージ不要ですぐに決済可能。必要になったらすぐに決済できるため、急ぎで決済したい場合に役立ちます。

### ②無職や信用力の低い人でも使える

クレジットカードは個人信用力が高くないと審査に通りにくい側面があります。キャリア決済の場合は、無職の人でも問題なく利用可能です。

### ③携帯代金とまとめて支払える

キャリア決済の利用料金は、翌月請求される携帯料金に含まれます。複数の支払いを1つにまとめられる点も、キャリア決済のメリットです。

### ④端末さえあれば小中高生を含む未成年でも利用できる

スマホや携帯の端末さえあれば、未成年でも利用できる点も、キャリア決済を利用するメリットのひとつです。キャリア決済は小学生でも利用可能です。限度額が少額なので子ども用にもおすすめ。いずれのキャリア決済も、利用上限額は最大で10万円。未成年の場合はさらに低く、毎月のお小遣い程度の金額で収まるようになっているので、子ども用の支払いにもおすすめです。

## キャリア決済のデメリット（まとめ）

### ① 限度額が低く使いづらい

キャリア決済は、少額の決済に向いているサービスです。逆に言えば、利用限度額が低めに設定されていると高額の商品には利用できません。ネットショッピングなどで10万円以上の買い物をする場合は、他の決済方法を選ぶ必要があります。

### ② 分割払いやリボ払いができない

キャリア決済は、クレジットカードと同じく後払いができる決済サービスです。しかし、クレジットカードのように分割払いやリボ払いができません。上限10万円ギリギリ使っても、翌月には一括で支払う必要があるため要注意です。

### ③ 支払いが滞ると携帯まで使えなくなる可能性がある

キャリア決済を使いすぎて支払いが滞ると、携帯料金も滞納することになります。2ヶ月以上滞納すると、携帯電話の利用を止められてしまうので注意しましょう。

### ④ 利用できるサービスが限られている

キャリア決済は、ネットショッピングやデジタルコンテンツの支払いには使えますが、実店舗ではほとんど使えません。利用できるサービスが限られている点は、キャリア決済のデメリットです。

## ステージⅡ.キャリア決済をクレジットカードで支払う

携帯電話の支払いは、ご家族分も含めれば、毎月高額になる人も多いと思います。この支払を少しでも補てんできる方法はないだろうか？  
ここでお勧めしたいのが、クレジットカードでキャリア決済を支払う方法です。  
クレジットカードで払う際の留意点は以下の通りです。

### 毎月支払う携帯料金に関する特典があるかどうか

携帯料金は、毎月一定額必要になる固定費です。そのため、固定費の支払いでポイント還元を受けられるクレジットカードがあると、毎月少しずつポイントが貯まります。。さらに、携帯キャリア発行のクレジットカードの中には、携帯料金をそのカードで支払うだけでより多くのポイントを還元するものもあります。

### 同じキャリアのQRコード決済と相性が良いかどうか

キャリア決済サービスを提供している大手携帯キャリアは、それぞれQRコード決済も提供しています。大手携帯キャリアの提供するQRコード決済は、それぞれ同じキャリアの発行するクレジットカードに対して優遇措置を取っているため、相性の良いクレジットカードだと言えます。

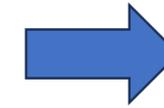


## クレジットカードの提携先

各キャリアのクレジットカードは、右図のように様々な国際クレジットブランドと提携しています。

クレジットと提携していると、旅行やグッズのネット販売での商品購入ばかりでなく、一般の商店や百貨店、スーパーでの買い物、レストランでの食事などでもクレジットカードが使える、さらにクレジットカードを使うことでポイントもたまることになります。

結果的に、携帯電話料金だけではなく、その他の商品やサービスの購入時にキャリアに対応したクレジットカードを使うと、ポイントがまとめられていくことになります。



VISA



VISA



VISA



VISA



## ステージⅢ. QRコード決済・バーコード決済とは？

QRコード決済（バーコード決済）は、キャッシュレス決済のひとつで、スマートフォンで支払いを完結できる決済手段です。QRコードアプリとクレジットカードを連携させておくことで、お得に活用することができます。

QRコード決済では、スマートフォンのQRコード決済専用アプリでQRコードやバーコードを使って支払います。

QRコードやバーコードの読み取りは、店舗側、またはお客さまのどちらかが行います。

QRコード決済は、店舗で支払いの際に、おつりのやりとりの手間を省けるだけでなく、非接触で決済が完了できるので、衛生面でも安心です。



## 主なQRコード決済サービス



d払い

NTTドコモが提供するQRコード決済サービスです。ご利用金額に応じてdポイントをためたり、支払いに使ったりすることが可能です。NTTドコモの携帯電話料金の支払いにまとめることができます。チャージは、指定の銀行口座やコンビニ、クレジットカードでできます。



AUペイ

AUペイは、AUが提供するQRコード決済サービスです。ローソンとの提携が特徴です。支払ったご利用金額に応じてau PAYの利用でPontaポイント（ローソン）を貯められ、貯まったPontaポイントは次の支払いに利用することができます。au PAYとPontaで切替可能です。



PayPay

ソフトバンクグループが提供するQRコード決済サービスです。ユーザー間で送金ができたり、パートナー企業のサービスをアプリ内で利用できたりする、などの特徴があります。ソフトバンクモバイルのほか、ヤフオク！やPayPayフリマの売上金も利用できるなど、使い道が最も広い決済サービスです。ヤフーとラインの会社統合がなされ、ライン・ヤフー社になったので、これからも様々な変身が期待されます。



楽天ペイ

楽天ペイは、楽天ペイメント株式会社が提供するQRコード決済サービスです。楽天ペイで支払ったご利用金額に応じて楽天ポイントがたまるほか、楽天などでためたポイントを支払いに使うことも可能です。

## QRコード決済の利用方法

ここまで紹介したQRコード決済は、カードを持ち歩く必要もなく、スマホにアプリをインストールし、IDを登録するだけで、スマホだけで気軽に支払いを済ませることができます。

- ①スマホにアプリをダウンロードする
- ②アプリを開き、IDを登録する
- ③残高を確認し、スマホをかざして、店頭で支払う
- ④毎月の利用明細もスマホの画面を開き、確認することができます。

## チャージ（入金）の方法

- ①アプリを開き、入金の設定をすると、提携しているクレジットカードから、必要な金額をチャージすることができる。
- ②市中の銀行やコンビニ窓口（セブン銀行・ローソン銀行）から、必要金額をチャージできる。
- ③予め、クレジットカードからの引き落とし設定をしておけば、毎月決まったタイミングで一定の金額をチャージすることができる。お小遣いなどの金銭管理が楽になる。

★毎月たまったポイントの範囲内でコンビニなどの支払いに使う。